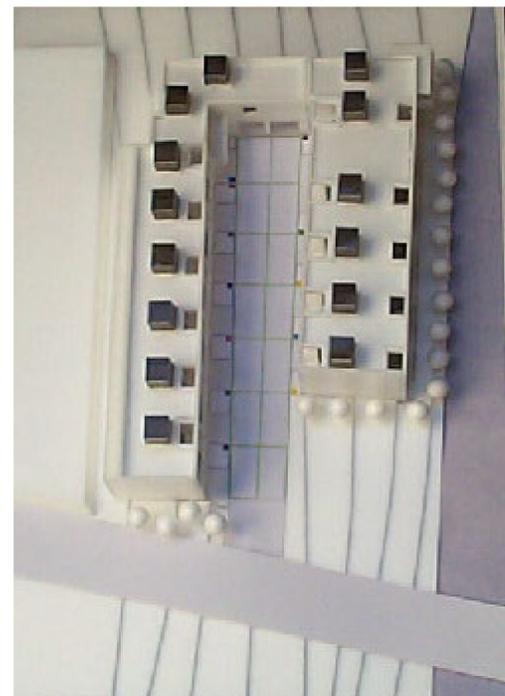
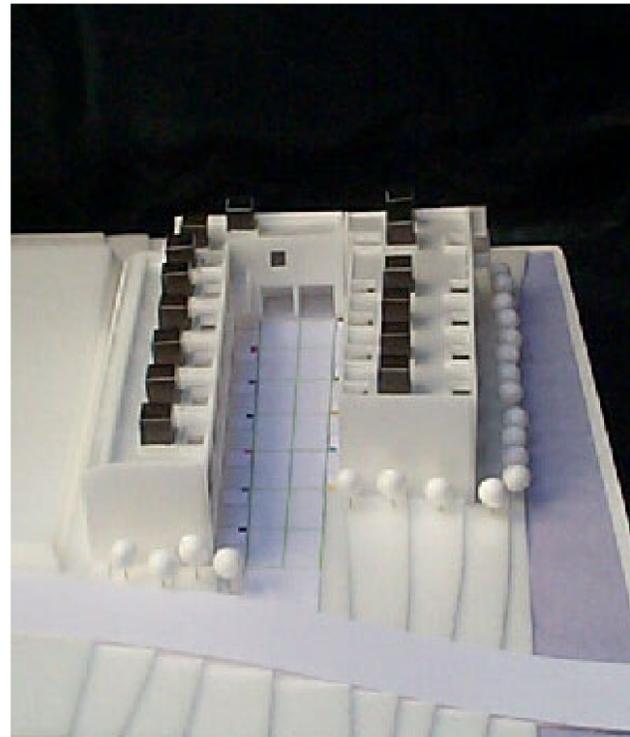


〈設計主旨〉

今回の設計条件を満たし且つ良好な居住環境を担保するには、この敷地の持つ法的規制からして可成りの困難は不可避で、結果として敷地境界線周辺の各種の複合的な規制と膨張しようとする建築体とがかりうじてバランスするラインが外壁面として成立している。

そのような操作を施しても残された利用可能なスペースが確保できず、又、敷地の性格上立体的利用は望めないため、14戸と各戸1台の駐車スペースを確保するには敷地の専用部を除く共用部における多目的な利用を積極的に取り入れる計画を企図した。敷地内通路がその唯一の共用部である。それは歩行者、住人の車の通行用通路の用途に併せて、扁平な形に囲われているので時宜に応じて住人の広場的な性格を持つことになろう。スプライン状に芝を配した舗装等の工夫を考える必要がある。又、画一的な長屋建て故、ささやかなアイデンティティを付加するために各住戸の広場に面する位置に配したツールがその広場的な性格を高めることになろう。

模型写真



配置図 1/200

〈面積表〉

	住宅部分		駐車場部分
	容積対象	容積対象外	
地下1階	88.80	0	87.90
1階	170.88	0	0
2階	170.88	0	0
PH1階	15.96	0	0
計	446.52	0	87.90

	住宅部分		駐車場部分
	容積対象	容積対象外	
地下1階	0	173.68	0
1階	96.42	0	54.00
2階	142.97	0	0
PH1階	13.30	0	0
計	252.69	173.68	54.00

	住宅部分		駐車場部分
	容積対象	容積対象外	
地下1階	0	109.03	0
1階	58.89	0	35.74
2階	94.08	0	0
PH1階	7.98	0	0
計	160.95	109.03	35.74

延床面積	1,320.51㎡	住宅部分面積合計	1,142.87㎡
地下1階	459.41㎡	容積対象住宅部分面積合計	860.16㎡
1階	415.93㎡	容積対象外住宅部分面積合計	282.71㎡
2階	407.93㎡	駐車場面積合計	177.64㎡
PH1階	37.24㎡		

容積対象外部分検討 1,142.87/282.71 > 3であるからB,Cﾌﾞｯｸﾞ地下住宅部分は容積対象外。
又、駐車場部分は限度内であるからこの部分も容積対象外となる。

敷地面積	1,075.42㎡
建築面積	429.01㎡ (39.90%)
容積対象床面積	860.16㎡ (79.98%)